



む そう
夢窓国師
生誕地伝承

国道163号沿いの片田井戸町の郵便局から少し北に入った傾斜地に建つ瑞林寺^{ずいりんじ}。この境内の一角に、南北朝から室町時代初期にかけて活躍した高僧の生誕地伝承碑があるのをご存じでしょうか。その高僧の名は夢窓疎石^{そ せき}。

京都五山の一つである相国寺^{しょうこく じ}、美しい庭園で有名な天龍寺、さらには「苔寺」の名で知られる西芳寺など、京都を中心に数多くの寺院の開山や庭づくりに関わり、その活躍から死後を含めて7代もの天皇から「国師」の称号を送られた人物です。

歴史の教科書に載るほど有名な夢窓疎石は、伊勢国生まれと言われており、ほかに鈴鹿市三宅町にも生誕地伝承があります。市内では、雲出川を崖下に臨む戸木町から庄田町にかけての場所に彼の開いた寺があり、「善応寺山^{ぜんのおう じ}」という地名がわずかに往時の名残を今に伝えています。

瑞林寺では、毎年4月に地元の皆さんが集い、国師の生誕と開山を記念する碑前祭が行われ、地域での顕彰活動が脈々と受け継がれています。

(「広報津」平成22年3月1日号)



瑞林寺境内に立つ「夢窓国師生誕地」碑

